

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311177
FAX(0277)401600

新年を迎えて「亥年」

二〇〇七年は亥(猪)年です。十二支では「亥」と表していましたが、後に「猪」が割り当てられるようになりまし。イノシシは子作りが上手なので子孫繁栄、勇敢な動物とされています。猪(いのしし)の意でイノシシ。中国語では「猪」とはブタのことを意味するので、イノシシは「野豚」といいます。日本でお馴染みの「イノブタ」は、ブタとイノシシの交配によって生まれた家畜です。イノシシは走り出すと容易に曲がれないため、がむしゃらに突き進むことを「猪突猛進」といいます。

初詣はぜひ菩提寺まで 新しい年には厄除け

除夜の鐘

十二月三十一日は毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは十一時四十五分頃。古いお札や縁起物は、境内にてお炊き上げをいたします。本堂では甘酒の接待のほか、新春祈禱、破魔矢

新春祈禱

元日より五日まで新春祈禱を行っています。時間は、朝九時〜午後四時頃まで。一時間間隔で随時申し込みができます。新年を迎える事が出来た感謝と、新たなる希望の成就を願って参加してく



道元禪師は、新年の祈りの儀式の時、こんな言葉を書き記しています。人が私に、新年頭仏法有りやと質問するならば、彼に向かって「有り」と言おう。それは、「各各人体居

それぞれの縁をおめでたくしよう

起万福」と。へ永平広録第一卷三三二「各各人体 居起万福」と言うのは、それぞれの人の日常の暮らしが全て幸せだ、と言う意味です。各各人体と言うのは、今年卒業するとか、人生上がり坂の人もいれば、現在闘病中の人もいれば、今年もいれば、第二の門出の人もいるでしょう。あるいは昨年家族と

祠堂 秋葉三尺坊 開山堂 新築工事経過報告

祠堂(位牌堂)新築工事の進捗状況をご報告いたします。昨年十月末に建設現場裏手の擁壁工事が終了いたしました。工事は少し遅れているようですが、平成十九年十月頃の完成を目指しております。十月十六日(月)、秋葉三尺坊大祭が2年ぶりに厳修され多くの参列者で賑わいました。秋葉三尺坊殿は、現在工事中のため新祠堂殿の落成までは大祭を見送っております。今年新しい建物での大祭となります。工事のため境内は足下が悪くなっておりますので気をつけてご参拝ください。祠堂寄付まだ受け付けております。一口八万円寄付者には、記念品として写真の位牌を作り永代



平成19年度 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和23年生	61歳 昭和22年生	62歳 昭和21年生
41歳 昭和42年生	42歳 昭和41年生	43歳 昭和40年生
24歳 昭和59年生	25歳 昭和58年生	26歳 昭和57年生
女		
36歳 昭和23年生	37歳 昭和22年生	38歳 昭和21年生
32歳 昭和42年生	33歳 昭和41年生	34歳 昭和40年生
18歳 平成2年生	19歳 平成元年(昭和64年)	20歳 昭和63年生

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。

賀正

世話人
東洋 一 金子 清館 盛治
天笠勝美 金子宗吉 啓
石原信子 木島幸雄 津久井祿治
板井政夫 木島富美雄 都筑啓友
板倉光夫 桑子三喜男 長澤吉太郎
岩崎キイ 桑原金吉 中島正雄
岩崎親道 小林當二 長谷川孝元
内野正章 小林満寛 羽田野百合子
梅澤守夫 五味田博 廣神重子
大里政由 清水義男 平方佳介
岡村栄三 下山直二郎 前原高男
岡島 崇 下山博康 山鹿精一
小川廣夫 田嶋愛子 吉田長生
金丸由太郎 田島輝雄 (あいいうえお願)

住職 坪井 良廣
総代 小此木秀夫
太田 亨文
石原 竹雄
池田伊佐男
峯崎 一男



供養位牌として位牌堂へ安置します。寄付終了後も永代位牌は、同額の八万円です。未だの方は、今年六月頃までにお願致します。

新築寄付申込の方法

銀行振込・郵便振替にてお願致します。

銀行口座

桐生信用金庫梅田支店
普通 0104616
鳳仙寺寄付

郵便振替

05201-032256
鳳仙寺

顧問 長沢弘一郎

鳳仙寺「写経の会」

十月二十四日(火)に第一回目の鳳仙寺「写経の会」が行なわれました。多くの方に参加いただき、秋彼岸の中日に心を静かに落ちつけて写経に集中していたしておりました。

「般若心経」を写経した後、各々自分の願いごとを書いたり、ご先祖様の戒名を書いていただき

ます。最後に、皆さんと一緒に「般若心経」を誦経し、御祈願の法要やご先祖様のご供養を行い終了となります。

現在、年四回の開催を予定しています。次回の開催は二月十五日十三時より。

写経をするのが初めての

方もご気軽にどうぞ参加ください。

持参品/小筆(または、筆ペンでも可)・ブロンチン

※写経用紙(半紙)、手本、硯、墨汁は用意いたします。

参加費は千円。



◆お申し込み/お問い合わせは：鳳仙寺まで

第一回 西国三十三観音霊場のご案内

～熊野三山と南紀周遊の旅～

皆様方におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

鳳仙寺では四回に分けて西国三十三観音霊場の旅を企画致しました。今回は熊野三山(本宮大社、速玉大社、那智大社)と安珍清姫の伝説にまつわる道成寺等とお詣りしながら西国観音霊場を巡る旅です。この機会にぜひ皆様方の知人・友人様等お誘い合せの上、ご参加下さるようお願い申し上げます。

○期 日
平成十九年四月四日(水)～六日(金)二泊三日

○旅 費
九万円(全食・観光付)

○募集人員
二十名(定員になり次第締め切ります)

○申込方法
申込書に必要事項をご記入の上、申込金二万円を

添えて二月末日までに鳳仙寺へお申込み下さい。

○コースの御案内
4月4日(水)
【鳳仙寺】5時→【東京】8時13分発→のぞみ→9時56分着【名古屋】10時6分発→ワイドビュー南紀→【新宮】13時25分着→熊野【大宮大社】→熊野【速玉大社】→【青岸渡寺】17時
宿泊/宿坊尊勝院

4月5日(木)
第一番【青岸渡寺】・熊野【那智大社】8時30分→【橋杭岩】→【道成寺】→第二番【紀三井寺】→【加太】17時30分
宿泊/休暇村紀州加太

4月6日(金)
【加太】8時30分→第三番【粉河寺】→第四番【槇尾寺】→河内長野→第五番【葛井寺】→【新

大阪【19時16分発】のぞみ→【東京】16時40分着→【鳳仙寺】22時着

※朱印帳・千二百円、掛軸・一万二千円ご希望の方は申込書にご記入下さい。一ヶ寺帳面・三百円、軸・五百円が朱印料として必要になります。

※詳細につきましては後日、参加申込者には「旅のしおり」にてご案内致します。

○旅行企画
鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
☎〇二七七(三)二七七

御詠歌だより

鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講員を募集しております。

毎月 第二・第四木曜日午後一時から三時まで 於 鳳仙寺書院

希望者があれば夜の練習も始めますのでお問合せください。

華道教室
第一・第三木曜日
午後一時から三時まで 於 鳳仙寺書院

鳳の会
地歌舞(じうたまい)
練習は、毎月二回地歌舞のおけいこをしております。詳しい日程についてはお問合せください。

◆お申し込み/お問い合わせは：鳳仙寺まで

鳳仙寺の修行を終えて、桐生へ戻り早くも八ヶ月が経ちました。

去年は、住職から法式などを学び、他寺院の法要の手伝いなど、短期間に多くの経験ができました。特に、去年十月には、ドイツへミュンヘン郊外の普門寺禅センターでの晋山結制の手伝いの機会もいただき外国人の僧侶と共に式を執り行った事は勉強になりました。

海外で日本の仏像の様な仏具を入手することはとても難しい様で、彼らは、仏具屋のカタログを見ながら手作りで作っている様子にとっても驚かされました。



きちんとした道具は無くても工夫次第で法要はどうにかなるんだなあ、あらためて感じました。今年も様々な機会と縁を大切に、充実した良い年になるよう。一日一日を大切に過ごして参りたいと思います。

新年あけましておめでとうございます。

婦人会会長 峯崎 由子
副会長 石原 茂子
副会長 坪井みはと

書記 金居 延子
書記 星野 歌子
会 計 田島登志子
会 計 吉池 良江
会 計 栗原 政江
会 計 金子美美子

幹事 松尾 一子

婦人会総会までの予定
一月二十一日 婦人会新年会
十二月より 於プリオパレス
二月 十五日 涅槃会(ねはんえ)
※お釈迦様が亡くなられた日です
午前中 涅槃団子を作ります
十三時 涅槃会法要
十三時半 写経の会
※希望者のみ

四月四日～六日 西国三十三観音霊場巡礼の旅※希望者のみ
四月二十九日 平成十九年度鳳仙寺婦人会総会 十三時より 於 本堂

坐禅と朝粥の会
毎月一日(正月を除く)朝七時より八時半まで 坐禅と朝粥の会を行います。
(会費無料)

平成十九年度年回表

一周忌	平成十八年
三回忌	平成十七年
七回忌	平成十三年
十三回忌	平成七年
十七回忌	平成三年
二十三回忌	昭和六十年
二十五回忌	昭和五十八年
二十七回忌	昭和五十六年
三十三回忌	昭和五十年
三十七回忌	昭和四十六年
四十三回忌	昭和四十年
四十七回忌	昭和三十六年
五十回忌	昭和三十三年
百回忌	明治四十一年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めにお願ひします。

坐禅と朝粥の会
毎月一日(正月を除く)朝七時より八時半まで 坐禅と朝粥の会を行います。
(会費無料)